

# サン・シル・ラポピー



## 素材研究 (海外)



岸壁の上に立つ中世都市・ロカマドゥール。「黒い聖母」を祀った聖地としても知られています



「ゴシック建築の宝庫中の宝庫」と言われるコルドシュールシエルの町並み



ロット川流域で最大の町・カオール名産の「黒ワイン」は、強度で色の濃い赤ワインです(© Patrice THEBAULT-CRT Midi-Pyrénées)



ケルシー産のトリュフは、フランス内外で評判の高い高級食材の一つ(© Christiane ROQUES-CDT LOT)



芸術家たちにも愛されたサン・シル・ラポピーの小路

まさに天然の要害を思わせるサン・シル・ラポピーの集落(© Dominique VIET-CRT Midi-Pyrénées)

## 囲舎が好きな旅行者に勧めたい村 フランス人もナンバーワンの太鼓判

「フランスの田舎」という言葉が最も似合うのは、フランス南西部だとも言われます。

JATAによる「ヨーロッパの美しい村30選」に入ったサン・シル・ラポピーは、そのフランス南西部にある村の中でも、「フランス人が好きな村2012年」でナンバーワンに選ばれたほど人気が高い存在です。

### ミディ・ピレネーで最も著名な村

大西洋と地中海に挟まれたフランス南西部の大半を占める広大な「ミディ・ピレネー」。いかにも南仏らしい明るい光に満ちた町や美しい風景の中に佇む雰囲気のある村が点在し、この地域ならではの味わい深いワインを産み出すブドウ畑が広がる景観は、フランスの田舎を象徴するものといえます。

そのミディ・ピレネーにあつて、フランス中部に水源を持つドルドーニュ川やロット川の流域にあるケルシー地方と呼ばれる帯には、中世からの教会や数百年前から変わらない姿をとどめる村々が多く残され、「フランスの最も美しい村」協会に登録される村全体の約3分の1が集中するほどです。

JATAによる「ヨーロッパの美しい村30選」に名前を連ねたサンシルラポピーは、ケルシー地方でも最も著名な村として知られています。ロット川を見下ろす100メートル

ルの岸壁に張り付く人口2000人という集落は、第2次世界大戦の戦禍も免れたことから、13〜14世紀につくられた建物が並び、村の中心にあるサンシル教会は歴史的建造物にも認定されています。

### フランスの田舎の素晴らしさ実感

古代ガリア・ローマ時代まで歴史をさかのぼる断崖の集落は、中世の頃には村全体が一つの要塞として機能したといえます。英仏百年戦争の前線に位置していたサンシルラポピーは、周囲を見通せる天然の砦として貴重な存在だったのです。

廃村になりかけた時期もありましたが、その美しさが良く知られていたことから、多くの芸術家たちが集落にやってくる、住民も戻ってきたと伝えられています。シユールレアリズム運動で知られるアンドレブルトンも長い間、サンシルラポピーで暮らしていました。

近代になつても集落は手つかずの状態が続いたため、中世の雰囲気は良く残されており、自然と調和した美しさは他に類を見ないと言われています。

入口の門から見上げると村の全景を見渡すことができ、岩の上に建てられた教会を中心にエッジ色の屋根が連なる家並みは、おとぎ話に出て来る風景のようです。廃墟となった城塞跡からは、眼下にロット川の流れるを望むことができ、フランスの田舎の素晴らしさを実感させてくれます。